

# 県央支部だより

発行  
公益社団法人新潟県看護協会  
県央支部

## ごあいさつ

県央副支部長 諏訪 綾子  
(新潟県立吉田病院)

この度、令和4年度新潟県看護協会県央支部集会におきまして、副支部長を仰せつかりました。丸山支部長をはじめ、中條副支部長と共に役員・支部会員皆さまの力をお借りしながら、2年間の任期を務めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2025年を見据えた社会保障制度改革が進み、地域包括ケアシステムの推進をはじめ、地域社会において連携体制がますます重要となってきました。そして地域の医療ニーズや、今後さらに少子超高齢多死社会が進む中で、看護職に期待される役割は益々大きくなっています。このような社会情勢を踏まえ、高齢者のみならず、全ての世代にとって、より安心して生活できるように看護職はそれぞれの専門性を発揮して看護を提供していかなければならないと思います。また、自然災害や今回の新型コロナウイルス感染症の拡大等、地域においては一層看護の力が求められています。

現在、新型コロナウイルス感染症に対して医療、保健、介護、在宅等の各々の現場では、感染対策をとりながらも感染リスクの不安を抱え看護に取り組まれています。また支部活動においては、会議や研修を縮小し環境を整えながら行っています。

このような状況ではありますが、地域住民の健康と福祉の維持・増進に向け、県央地域の看護職のネットワークを強化していく必要があると思います。そして県央支部の活動におきましては、保健師・助産師・看護師の3職能で連携を図りながら、会員の皆さまに変化する社会のニーズに対応できる、役に立つ研修会の開催等提供できるよう活動を進めていきたいと思っています。会員の皆さまの県央支部活動へのご支援ご協力を、よろしくお願いいたします。

## 第52号 CONTENTS

- ・副支部長のごあいさつ
- ・トピックス
- ・施設紹介
- ・令和4年度 委員会活動について
- ・事務局からのお知らせ



## 県央の救急医療を支える

新潟県立燕労災病院

小島 圭太 (救急看護認定看護師)



県央医療圏の再編により、「地域で高度な医療を支える柱」となるべく、済生会新潟県央基幹病院開院に向けた動きが加速しています。地域の救命救急を支えるため、燕労災病院では2022年4月よりプレERが始動し、さまざまな重症度、疾患の救急患者を受け入れ、断らない救急に向けた医療が展開されています。

救急看護は、突発的な外傷、急性疾患、慢性疾患の急性増悪など、状況や場所を問わず、あらゆるライフステージの患者に対し、救急処置を中心とした初期治療段階で実施される看護実践です。「命を救い、生を支える」という目的を持ち、患者、家族の「安全」を図り、診療の補助と療養上の世話を武器に、オールラウンダー的な即応部隊として、時に意思決定や心理的危機状態に対し支援する役割があります。救急看護師には、少ない情報から病態を予測する情報収集能力と、情報を整理し、緊急度や看護問題を抽出するアセスメント能力や臨床判断が必要となります。また、救急対応を担う医師、看護師、コメディカルスタッフとの円滑なチーム医療を行うための調整能力を持ち、社会復帰を見据えたシームレス(切れ目のない)で、トータル(全人的)な看護を提供しなければなりません。

救急看護認定看護師として、済生会新潟県央基幹病院へとつなげ、県央医療圏の救急医療を支える柱となるべく日々活動しています。



## 施設紹介

# NPO法人 地域たすけあいネットワーク かじまちの家



理事長 山崎 千代子

この度は当事業所の紹介の機会をいただき誠にありがとうございます。

1999年に設立し、現在は三条市本町の「かじまちの家」を拠点として会員同士のたすけあい活動、訪問介護、障がい者支援、デイサービス等の福祉サービスを行っています。また、こども食堂やコミュニティカフェ、オレンジカフェなどの居場所づくりの活動も積極的にしており、地域の方とのつながりの場になるとともに、会員が得意なことを発揮して活躍する機会もなっています。

コロナ禍においても地域の方とのつながりを大切にして、昨年できたデッキスペースを活用してお茶会などのイベントを開催しています。

玄関には、会員なら誰でも出店できる土間ショップがあります。ここでは地元農産物やハンドメイド雑貨等を販売しており、地産地消の推進とともに、会員や地域の方との交流の場となっています。

このような活動を応援、または一緒に活動してくださる会員さんを募集しております。草取りや、雪かきなど「たすけあい」活動にご協力いただける方なども大歓迎です。これからも困った時はお互いさまの精神で地域に根差した活動を進め、SDGsが目指す「誰ひとり取り残さない社会」を実践してまいります。



## 令和4年度 委員会活動について

### 保健師職能委員長 渡邊 瑞樹

(三条市子どもの育ちサポートセンター)

保健師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

保健師職能委員会は、「研修会」「職能だよりの発行」「交流会」を主な活動として行っております。

昨年度の研修会では、「虐待から子どもを守るために～リスクを抱える保護者との関係の築き方～」をテーマに、コロナ対策のため初めてハイブリッド開催としました。保健師は虐待予防の戦力という内容を学び、事例検討を行うことで保健師活動について理解を深めることができました。今年度も感染対策に十分考慮し、保健師活動に活かすことができるような研修会を行えるよう取り組んでいきたいと思っております。

職能だよりでは、支部会員の活動を知っていただく良い機会となるよう、会員以外の方や管内病院、保健師養成学校への配付を継続していきます。

交流会については、昨年度も新型コロナウイルスの拡大に伴い中止を余儀なくされました。今後も流行の動向をみながら開催を検討していきます。保健師の活動がさらに充実するように、会員同士のつながりや情報交換の機会を大切にしていきたいと思っております。

最後になりましたが、今年度も引き続き、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

### 助産師職能委員長 栗山 則子

(済生会三条病院)

助産師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

私たちの主な活動は、研修会の企画・運営です。他支部との連携、情報交換を目的に、長岡支部と合同で活動をしています。昨年度は「行政・地域で支える切れ目のない母子支援」をテーマに研修会を開催しました。

今年度は、小児科医師による最新の小児アレルギーについての講演会を企画しておりましたが、長岡支部との協議の結果、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会は中止とし、会員の皆様へ小児アレルギーについての資料を配付することといたしました。今後も、新型コロナウイルスと共存しながら、タイムリーな話題やニーズに沿った内容の研修会開催を目指していきたいと考えています。

引き続き、皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 看護師職能委員長 霜 鳥 才 子

(新潟県立燕労災病院)

看護師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

看護師職能委員は病院勤務者Ⅰと施設勤務者Ⅱが協力し活動をしています。年1回予定している交流研修会の企画運営が主な活動です。

令和3年度は「地域包括システムにおける他職種の役割」をテーマに三条総合病院看護部長小林清美様より講演していただきました。機能分化した医療機能の中で、途切れのない継続した看護の実践を現場に活かせる内容で、交流研修会後のアンケート結果は好評でした。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から研修会における注意事項や環境整備など対策を行い、「ストレスコントロールと自己理解～エゴグラムで見える自分の傾向～」をテーマに臨床心理士、渡邊弥生先生をお迎えして講演をしました。人間関係のストレスに悩む看護師が多いと言われていています。自分自身の強み弱みを客観視し、よりよい人間関係の形成を築く事は、質の高い看護の実践に繋がる事を再認識できた研修でした。

会員の皆様には引き続きご協力よろしくお願いいたします。

## 教育委員長 坂 井 明 子

(新潟県立燕労災病院)

教育委員会は、支部の教育企画の実施、支部通常集会時の記念講演会の企画運営、教育研修会への協力を行っております。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い通常集会の縮小、記念講演会の中止を余儀なくされました。

来年度の特別講演会は、感染対策にも充分考慮し検討を重ねた上で、安全に講演会が開催できるように取り組んでいきたいと思っております。

テーマは、「看護職が家族を支えるグリーフケア～ご本人やご家族の意向を尊重したケアを行うために～」と題し、新潟市にある〔街の小さな葬儀屋さん ラ・プリエール〕の代表取締役 村上慶乃介氏よりご講演いただくよう企画しています。充実した記念講演会になるよう、委員会で話し合いを重ねています。周知方法や講演会のスタイル等もより地域の皆様や会員様のニーズにお応えできるように努めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 【事務局からのお知らせ】

### 報告

### 令和4年度 新潟県看護協会県央支部通常集会

新潟県看護協会県央支部通常集会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため  
新旧役員引き継ぎ会として少人数で開催しました。

日時：令和4年6月25日(土) 午前9時30分から11時

会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア

7階マルチメディアホール

出席者：43人



\*新潟県看護協会県央支部会員数 1,253人(令和4年10月11日現在)  
(内訳：保健師98人・助産師33人・看護師1,052人・准看護師70人)

### お知らせ

### 令和5年度 新潟県看護協会県央支部通常集会

日時：令和5年6月24日(土) 午前9時から11時30分予定

会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア

\*新型コロナウイルス感染症対策のため開催方法を工夫し、集会終了後に特別講演を  
予定しています。詳細は後日お知らせします。

県央支部 書記 熊倉 真知子

## 編集後記

県央支部だより第52号をお届けいたします。

お忙しい中、ご寄稿して頂きました皆様、ありがとうございました。

皆様に紹介したい情報・ご意見などありましたら、ぜひ広報委員までお知らせ下さい。

広報委員 矢代・後藤・小林・伊藤・阿部

◎問い合わせ 広報委員長 阿部志真 TEL: 0256-93-3485(新潟県立吉田病院附属看護専門学校)